

2.4.2 典型性（常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、スギ・ヒノキ人工林）

工事着手前の典型性（常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、スギ・ヒノキ人工林）の状況を把握するため植生調査を実施したので報告する。

(1) 調査目的

本調査は、異なる樹林タイプのそれぞれについて、事業による周辺植生の変化（枯損木の発生や樹林の後退等）を今後把握するため、工事着手前の状況を把握する目的で実施した。

(2) 調査地点

調査地点は、図 2.4.2-1～3 に示すとおりである。

(3) 調査方法

調査方法は、群落コドラート調査によるものとした。

(4) 調査実施日

調査実施日は、表 2.4.2-1 表のとおりである。

表 2.4.2-1 調査実施日

調査実施日
平成 26 年 5 月 31 日
平成 26 年 11 月 4-5 日

(5) 調査結果

a. 典型性（植生）の状況

各地点の植生調査表を春季は表 2.4.2-2(1)～(7)に、秋季は表 2.4.2-3(1)～(7)に示した。

調査地点 1 は落葉広葉樹林タイプで、コナラ、ヤマボウシ、シキミ、ヒメミヤマスマレが、調査地点 2 はスギ・ヒノキ人工林タイプで、ヒノキ、ヒサカキが、調査地点 3 は落葉広葉樹林タイプで、コナラ、リョウブ、アセビ、ヤマツツジが、調査地点 4 は落葉広葉樹林タイプで、イタヤカエデ、ヒサカキ、アセビが、調査地点 5 は落葉広葉樹林タイプで、ヒメシャラ、エゴノキ、シキミが、調査地点 6 は常緑広葉樹林タイプで、ヤブニッケイ、アセビ、シキミ、ヒサカキが、調査地点 7 は常緑広葉樹林タイプで、アカガシ、コジイ、アセビ、シキミが主要構成種である植生となっていた。これらの植生は、当該地域の動植物の生息生育基盤としての役割を果たしていると考えられる。

典型性の調査位置は、種の保護のため表示を控えています。

図 2.4.2-1 生態系（典型性）調査地点

典型性の調査位置は、種の保護のため表示を控えています。

図 2.4.2-2 生態系（典型性）調査地点

典型性の調査位置は、種の保護のため表示を控えています。

図 2.4.2-3 生態系（典型性）調査地点

表 2.4.2-2(1) 植生調査表 (調査地点 1)

群落名		コナラ群落(No.10北側斜面)		地点No.	①				
地形		斜面上	土 壌	風 当	晴				
方位		N	傾 斜	日 当	晴				
面積(m)		15×20m	海抜(m)	土 温	適温				
(階層)		種 名	高 さ(m)	種 数	52				
高木層 B1		コナラ	15	植 被 率(%)					
亜高木層 B2		クマシデ	8						
低木層 S		シキミ	4						
草本層 K		ヒメヤマスマシレ	0.8						
				調査日	2014年5月31日				
L	D-S	ssp.	L	D-S	ssp.	L	D-S	ssp.	
B1	5・5	コナラ	S	3・2	シキミ	K	1・2	ウリハダカエデ	1
	1・1	アオハダ		1・2	アセビ		1・2	カワチブシ	2
	1・1	アカガシ		1・1	タンナサワフタギ		1・2	ヒメヤマスマシレ	3
	1・1	カナクギノキ		1・1	シラキ		+・2	ミヤコアオイ	4
	1・1	ヤマザクラ		1・1	クマシデ		+・2	ナガバスマシレサイシン	5
	+	ヒメシャラ		1・1	シロダモ		+・2	ヤブレガサ	6
				1・1	ヤマボウシ		+	アオツツラフジ	7
				1・1	マルバアオダモ		+	アオハダ	8
				+	ヤブツバキ		+	アセビ	9
				+	カマツカ		+	イタヤカエデ	10
				+	ツクバネウツギ		+	イワガラミ	11
				+	イヌツゲ		+	オオバトソボソウ	12
				+	ムラサキシキブ		+	オニドコロ	13
							+	カナクギノキ	14
							+	キクムグラ	15
							+	キッコウハグマ	16
							+	クロモジ	17
							+	コアジサイ	18
							+	コナラ	19
B2	2・2	クマシデ					+	コバノガマズミ	20
	1・2	ヤマボウシ					+	サルトリイバラ	21
	1・1	シラキ					+	シキミ	22
	1・1	ヒメシャラ					+	シハイスミレ	23
	1・1	エゴノキ					+	シロダモ	24
	+	クマノミズキ					+	スゲ属の一種	25
	+	マルバアオダモ					+	ソヨゴ	26
	+	リョウブ					+	タチツボスミレ	27
	+	ホオノキ					+	タツナミソウ属の一種	28
							+	タンナサワフタギ	29
							+	テイカカズラ	30
							+	ナガバモミジイチゴ	31
							+	ノキシノブ	32
							+	ヒサカキ	33
							+	ヒメシャラ	34
							+	ミツバアケビ	35
							+	ヤブイバラ	36
							+	ヤブツバキ	37
							+	ヤマジノホトギス	38
							+	ヤマボウシ	39
									40

メモ:

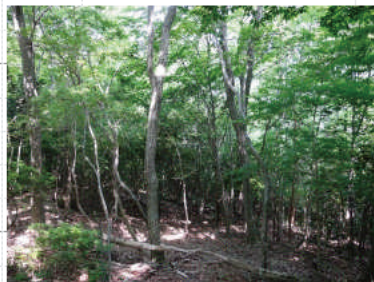
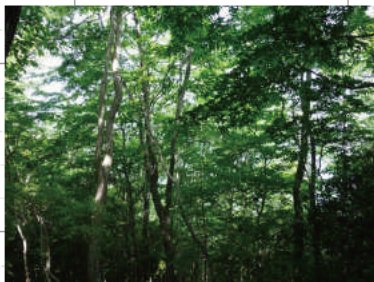


表 2.4.2-2(4) 植生調査表 (調査地点4)

群落名		夏緑広葉樹林(No.22東側斜面)		地点No.	④				
地形	斜面上	土壌	褐色森林土	風当	弱				
方位	SE	傾斜	35°	日当	陽				
面積(m)	15×15m	海拔(m)	650	土湿	適湿				
(階層)	種名	高さ(m)	植被率(%)	種数	34				
高木層 B1	ウワミズザクラ	15	70	備考					
亜高木層 B2	ヒサカキ	8	45						
低木層 S	アセビ	3	65						
草本層 K	アセビ	0.5	5						
				調査日	2014年5月31日				
L	D-S	SSD	L	D-S	SSD	L	D-S	SSD	
B1	2・1	ケヤキ	S	4・4	アセビ	K	1・2	カマツカ	1
	2・1	モミ		1・1	シロダモ		1・1	アセビ	2
	2・1	ウワミズザクラ		1・1	シキミ		+	イロハモミジ	3
	1・1	ヤマザクラ		+	カマツカ		+	ウリハダカエデ	4
	1・1	アカガシ		+	ヒサカキ		+	クロモジ	5
	1・1	アカシデ					+	コハウチワカエデ	6
	1・1	イタヤカエデ					+	コバノイシカグマ	7
	1・1	イヌシデ					+	サルトリイバラ	8
	1・1	エゴノキ					+	シキミ	9
	1・1	クリ					+	シシガシラ	10
	1・1	コハウチワカエデ					+	シロダモ	11
	1・1	シロダモ					+	タチツボスミレ	12
	1・1	ヒメシャラ					+	ツルマサキ	13
	1・1	マルバアオダモ					+	ナガバタチツボスミレ	14
	1・1	リョウブ					+	ベニシダ	15
							+	モミ	16
							+	ヤブイバラ	17
									18
									19
B2	2・2	ヒサカキ							20
	2・1	エゴノキ							21
	1・2	リョウブ							22
	1・1	イロハモミジ							23
	1・1	タンナサワフタギ							24
	1・1	アオハダ							25
	1・1	クマシデ							26
	+	カマツカ							27
	+	カナクギノキ							28
	+	ヒメシャラ							29
									30
									31
									32
									33
									34
									35
									36
									37
									38
									39
									40

メモ:

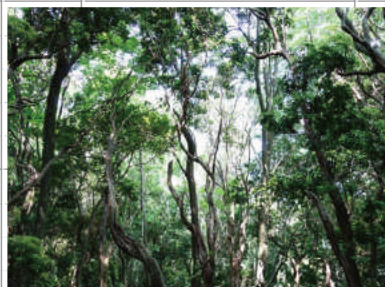


表 2.4.2-2(5) 植生調査表 (調査地点 5)

群落名		夏緑広葉樹林(No.22西側斜面)		地点No.	⑤			
地形	斜面上	土壌	褐色森林土	風当	中			
方位	NW	傾斜	35°	日当	陽			
面積(m)	15×15m	海拔(m)	645	土温	適温			
(階層)	種名	高さ(m)	植被率(%)	種数	51			
高木層 B1	ヒメシヤラ	14	85	備考				
亜高木層 B2	エゴノキ	8	35					
低木層 S	アブラチャン	3	45					
草本層 K	カワチブシ	0.5	10					
				調査日	2014年5月31日			
L	D-S	SSD.	L	D-S	SSD.	L	D-S	SSD.
B1	2・2	ケヤキ	S	3・3	アブラチャン	K	1・2	カワチブシ
	2・2	ヒメシヤラ		2・2	シラキ		+・2	ヒメシヤラ
	2・2	エゴノキ		1・2	コハウチワカエデ		+・2	ミヤコアオイ
	1・2	カナクギノキ		1・1	エゴノキ		+・2	ヒメミヤマスミレ
	1・1	イヌシデ		1・1	ヤマツツジ		+	アカメガシワ
	1・1	ウリハダカエデ		1・1	イヌシデ		+	イヌシダ
	1・1	クマノミズキ		1・1	ガマズミ		+	イヌシデ
	1・1	クリ		+	イロハモミジ		+	ウワミズザクラ
	1・1	ヤマザクラ		+	カマツカ		+	オニドコロ
				+	キブシ		+	ガクウツギ
				+	シキミ		+	カナクギノキ
				+	シロダモ		+	カマツカ
				+	シロモジ		+	コアジサイ
				+	タンナサワフタギ		+	コタチツボスミレ
				+	ネジキ		+	サルナシ
				+	ノキシノブ		+	サワハコベ
							+	シラキ
							+	シロダモ
							+	スゲ属の一種
B2	2・2	エゴノキ					+	ダイセンミツバツツジ
	1・1	シロダモ					+	タツナミソウ属の一種
	1・1	ヒメシヤラ					+	タンナサワフタギ
	1・1	アブラチャン					+	ツルマサキ
	1・1	マルバアオダモ					+	トサノミツバツツジ
	1・1	コハウチワカエデ					+	フクロシダ
	+	ケヤキ					+	フモトスミレ
	+	クリ					+	ベニシダ
	+	リョウブ					+	マムシグサ属の一種
	+	タンナサワフタギ					+	マメツタ
	+	シラキ					+	マルバウツギ
							+	ミサキカグマ
							+	ヤブレガサ
							+	ヤマジノホトギス
							+	ヤマツツジ

メモ:

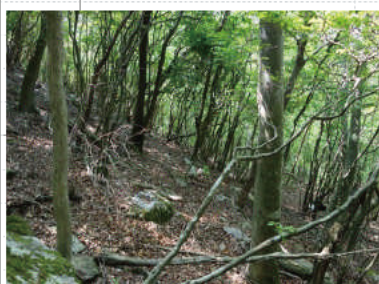
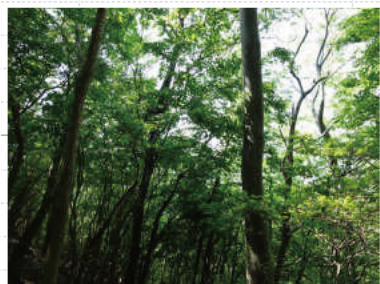


表 2.4.2-2(6) 植生調査表 (調査地点6)

群落名		アセビ-イヌツゲ群落(No.11 西側斜面)		地点No.	⑥			
地形	斜面上	土壌	褐色森林土	風当	中			
方位	S	傾斜	40°	日当	晴			
面積(m)	10×10m	海拔(m)	560	土湿	適湿			
(階層)	種名	高さ(m)	植被率(%)	種数	47			
高木層 B1								
亜高木層 B2	アカマツ	8.0	20					
低木層 S	アセビ	5.0	90					
草本層 K	ヒサカキ	1.0	15					
				調査日	2014年5月31日			
L	D-S	SSD.	L	D-S	SSD.	L	D-S	SSD.
B1			S	4.4	アセビ	K	1.2	ヒサカキ
				1.1	コナラ		1.2	コアジサイ
				1.1	ヒサカキ		1.1	アセビ
				1.1	ヤブツバキ		+ 2	コウヤボウキ
				1.1	ネズミモチ		+	アラカシ
				1.1	カマツカ		+	イヌツゲ
				+	アオハダ		+	イロハモミジ
				+	コアジサイ		+	ウラジロ
				+	シキミ		+	ガクウツギ
				+	シロダモ		+	コナラ
				+	テイカカズラ		+	コバノガマズミ
				+	ネジキ		+	コマユミ
				+	ヒメシャラ		+	サカキ
				+	モチツツジ		+	サルトリイバラ
				+	ヤブイバラ		+	シキミ
				+	リョウブ		+	シシガシラ
							+	シハイスミレ
							+	シロダモ
							+	スゲ属の一種
B2	1.1	アカマツ					+	スノキ
	1.1	コナラ					+	ソヨゴ
	1.1	ネジキ					+	タカハツメ
	1.1	ヒメシャラ					+	タンナサワフタギ
	1.1	ヤブニッケイ					+	ツルリンドウ
	1.1	ヤマザクラ					+	テイカカズラ
							+	トウゲシバ
							+	ナガバモミジイチゴ
							+	ヒメシャラ
							+	ヒメドコロ
							+	フモスミレ
							+	マメ科の一種
							+	マルバウツギ
							+	ミヤコアオイ
							+	モチツツジ
							+	ヤブイバラ
							+	ヤブツバキ
							+	ヤマザクラ
							+	ヤマジノホトギス
							+	ヤマツツジ
							+	ヤマボウシ

メモ:

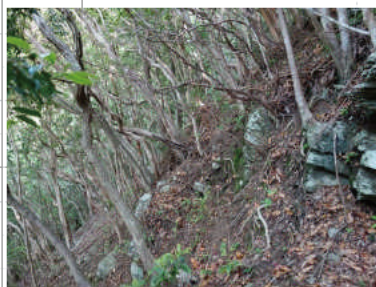
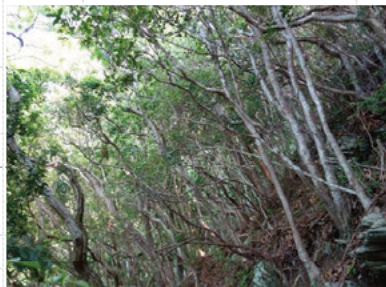


表 2.4.2-2(7) 植生調査表 (調査地点7)

群落名				シイ・カシ二次林(No.15南東側斜面)		地点No.		⑦				
地形	斜面上		土壌	褐色森林土		風当	中					
方位	SW		傾斜	30°		日当	陽					
面積(m)	15×15m		海拔(m)	610		土温	適温					
(階層)	種名		高さ(m)	植被率(%)		種数	22					
備考												
高木層 B1	アカガシ		14	85								
亜高木層 B2	コナラ		8	35								
低木層 S	アセビ		3	45								
草本層 K	ヒサカキ		0.5	10								
						調査日	2014年5月31日					
L	D-S	ssp.		L	D-S	ssp.		L	D-S	ssp.		
B1	4・4	アカガシ		S	3・3	アセビ		K	1・1	ヒサカキ		1
	1・1	リョウブ			1・1	シキミ				+ アカガシ		2
	1・1	タカノツメ			1・1	ネジキ				+ アセビ		3
	2・1	コジイ			1・1	モチツツジ				+ コアジサイ		4
	2・1	アカマツ			1・1	イヌツゲ				+ サルトリイバラ		5
	+	ソヨゴ			+	カマツカ				+ シキミ		6
	+	コナラ			+	コジイ				+ スノキ		7
					+	タンナサワフタギ				+ タカノツメ		8
					+	ヒサカキ				+ タンナサワフタギ		9
					+	ヤブツバキ				+ ヤブツバキ		10
										+ ヤマツツジ		11
												12
												13
												14
												15
												16
												17
												18
												19
B2	2・2	コナラ										20
	2・1	リョウブ										21
	1・1	アカガシ										22
	1・1	ネジキ										23
	+	アラカシ										24
	+	ソヨゴ										25
												26
												27
												28
												29
												30
												31
												32
												33
												34
												35
												36
												37
												38
												39
												40

メモ:



表 2.4.2-3(1) 植生調査表 (調査地点1)

群落名				コナラ群落(No.10北側斜面)				地点No.	①
地形	斜面上	土壌	褐色森林土	風当	弱				
方位	N	傾斜	25°	日当	陽				
面積(m)	15×20m	海拔(m)	587	土湿	適湿				
(階層)	種名	高さ(m)	植被率(%)	種数	42				
高木層	B1	コナラ	15	95	備考				
亜高木層	B2	クマシデ	8	35					
低木層	S	シキミ	4	50					
草本層	K	ヒメヤマスマシレ	0.8	15					
				調査日	2014年11月4日				
L	D-S	ssp.	L	D-S	ssp.	L	D-S	ssp.	
B1	5.5	コナラ	s	3.2	シキミ	K	1.2	ウリハダカエデ	1
	1.1	アオハダ		1.2	アセビ		1.2	カワチブシ	2
	1.1	アカガシ		1.1	タンナサワフタギ		1.2	ヒメヤマスマシレ	3
	1.1	カナクギノキ		1.1	シラキ		+2	ミヤコアオイ	4
	1.1	ヤマザクラ		1.1	クマシデ		+	アオツツラフジ	5
	+	ヒメシャラ		1.1	シロダモ		+	アオハダ	6
				1.1	ヤマボウシ		+	アカガシ	7
				1.1	マルバアオダモ		+	アセビ	8
				+	ヤブツバキ		+	イタヤカエデ	9
				+	イヌツゲ		+	イヌツゲ	10
				+	カマツカ		+	カナクギノキ	11
				+	ムラサキシキブ		+	クロモジ	12
							+	サルトリイバラ	13
							+	シキミ	14
							+	シロダモ	15
							+	スゲ属の一種	16
							+	ソヨゴ	17
							+	タツナミソウ属の一種	18
							+	ツクバネウツギ	19
B2	2.2	クマシデ					+	ナガバスマシレサイシン	20
	1.2	ヤマボウシ					+	ナガバモミジイチゴ	21
	1.1	シラキ					+	ノキシノブ	22
	1.1	ヒメシャラ					+	ヒサカキ	23
	+	エゴノキ					+	ヒメシャラ	24
	+	クマノミズキ					+	フデリンドウ	25
	+	マルバアオダモ					+	ミツバアケビ	26
	+	リョウブ					+	ムラサキシキブ	27
	+	ホオノキ					+	ヤブイバラ	28
							+	ヤブツバキ	29
							+	ヤブレガサ	30
							+	ヤマボウシ	31
									32
									33
									34
									35
									36
									37
									38
									39
									40

メモ:

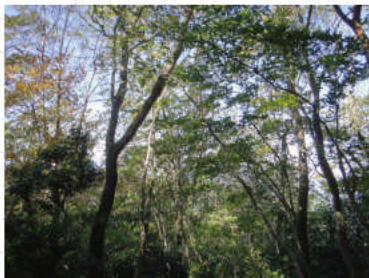
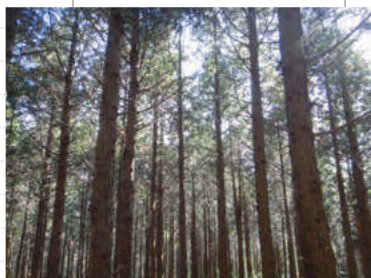


表 2. 4. 2-3(2) 植生調査表 (調査地点 2)

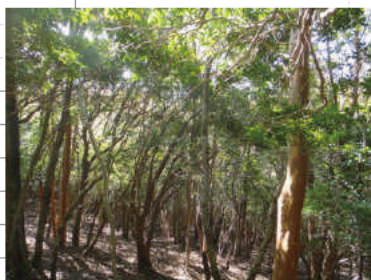
群落名			ヒノキ植林(No.7南側斜面)			地点No.		②		
地形			斜面上	土 壌		風 当		弱		
方位			S	傾 斜		日 当		晴		
面積(m)			15×15m	海抜(m)		土 湿		適量		
(階層)			種 名		高 さ(m)		種 数		21	
高木層 B1			ヒノキ		14		備 考			
亜高木層 B2			階層なし		—					
低木層 S			ヒサカキ		2					
草本層 K			ヒサカキ		0.5					
								調査日	2014年11月4日	
L	D・S	SSD.	L	D・S	SSD.	L	D・S	SSD.		
B1	5・5	ヒノキ	S	1・1	ヒサカキ + サカキ	K	3・3	ヒサカキ	1	
								+2	ヒメシヤラ	2
								+2	エゴノキ	3
								+2	ヒメヤマスマレ	4
								+	アオハダ	5
								+	アセビ	6
								+	アラカシ	7
								+	イヌツゲ	8
								+	ウリカエデ	9
								+	カラムシ	10
								+	キツコウハグマ	11
								+	クマシデ	12
								+	サルトリイバラ	13
								+	シハイスミレ	14
								+	シロダモ	15
								+	タンナサワフタギ	16
								+	ナガバモミジイチゴ	17
								+	ムラサキシキブ	18
								+	ヤマザクラ	19
B2										20
										21
										22
										23
										24
										25
										26
										27
										28
										29
										30
										31
										32
										33
										34
										35
										36
										37
										38
										39
										40



メモ:

表 2.4.2-3(3) 植生調査表 (調査地点3)

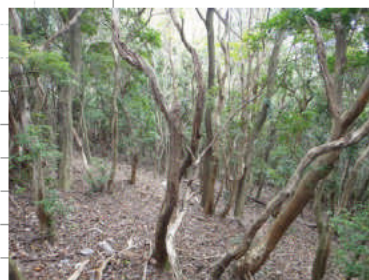
群落名	コナラ群落 (No.6南側斜面)			地点No.	③			
地形	斜面上	土壌	褐色森林土	風当	弱			
方位	SW	傾斜	25°	日当	陽			
面積(m)	15×20m	海拔(m)	587	土温	適温			
(階層)	種名	高さ(m)	植被率(%)	種数	27			
高木層 B1	コナラ	14	95	備考				
巨高木層 B2	リョウブ	8	25					
低木層 S	アセビ	5	55					
草本層 K	ヤマツツジ	0.3	5					
				調査日	2014年11月4日			
L	D・S	ssp.	L	D・S	ssp.	L	D・S	ssp.
B1	4・4	コナラ	S	4・4	アセビ	K	1・1	ヤマツツジ
	1・1	クリ		1・2	ダイセンミツバツツジ		+	イヌツゲ
	2・2	イヌシデ		1・1	シロダモ		+	ウリハダカエデ
	2・1	ヒメシヤラ		1・1	ヤマツツジ		+	カマツカ
	1・1	リョウブ		+	クマシデ		+	シキミ
	1・1	ヤマザクラ		+	コナラ		+	シロダモ
	1・1	クマシデ		+	タンナサワフタギ		+	ソゴ
				+	ネジキ		+	タカノツメ
				+	ノキシノブ		+	ノキシノブ
				+	ヒサカキ		+	ヒサカキ
							+	ヒメシヤラ
							+	ヒメミヤマスミレ
							+	ミツバアケビ
							+	ムラサキシキブ
							+	ヤブコウジ
B2	2・2	リョウブ						
	1・2	コナラ						
	1・1	シロダモ						
		+ ウリカエデ						
		+ マルバアオダモ						



メモ:

表 2.4.2-3(4) 植生調査表 (調査地点 4)

群落名				夏緑広葉樹林(No.22東側斜面)				地点No. ④			
地形		斜面上		土壌		褐色森林土		風当		開	
方位		SE		傾斜		35°		日当		開	
面積(m)		15×15m		海拔(m)		650		土湿		適湿	
(階層)		種名		高さ(m)		植被率(%)		種数		28	
								備考		部分的に落葉のため植被率減少	
高木層 B1		モミ		15		55		調査日		2014年11月5日	
亜高木層 B2		ヒサカキ		8		45					
低木層 S		アセビ		3		50					
草本層 K		なし		0.5		1					
L	D-S	SSD.		L	D-S	SSD.		L	D-S	SSD.	
B1	2・1	モミ		S	3・3	アセビ		K	+	アセビ	
	2・1	アカガシ			1・2	ヒサカキ			+	ウリハダカエデ	
	1・1	アカシデ			1・1	シロダモ			+	カマツカ	
	1・1	イヌシデ			1・1	シキミ			+	シキミ	
	1・1	ウワミズザクラ							+	シロダモ	
	1・1	エゴノキ							+	ツルグミ	
	1・1	クリ							+	テイカカズラ	
	1・1	ケヤキ							+	ヒサカキ	
	1・1	コハウチワカエデ							+	モミ	
	1・1	シロダモ									
	1・1	ヒメシャラ									
	1・1	マルバアオダモ									
	1・1	ヤマザクラ									
	1・1	リョウブ									
B2	2・2	ヒサカキ									
	1・1	アオハダ									
	1・1	アセビ									
	1・1	イロハモミジ									
	1・1	エゴノキ									
	1・1	カナクギノキ									
	1・1	クマシデ									
	1・1	タンナサワフタギ									
	1・1	ネジキ									
		+ イタヤカエデ									
		+ カマツカ									
		+ ヒメシャラ									
		+ リョウブ									



メモ:

表 2.4.2-3(5) 植生調査表 (調査地点 5)

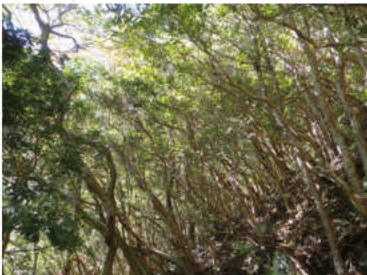
群落名				夏緑広葉樹林(No.22西側斜面)		地点No.	⑤	
地形		斜面上	土 壌	褐色森林土		風 当	中	
方位		NW	傾 斜	35°		日 当	陽	
面積(m)		15×15m	海抜(m)	645		土 温	適温	
(階層)	種 名	高さ(m)	植 被 率(%)	備 考				
高木層 B1	なし	14	20	部分的に落葉のため植被率減少				
亜高木層 B2	なし	8	25					
亜木層 S	アブラチャン	3	30					
草本層 K	なし	0.5	1					
						調査日	2014年11月5日	
L	D・S	ssp.	L	D・S	ssp.	L	D・S	ssp.
B1	1・1	ウリハダカエデ	S	3・3	アブラチャン	K	+	アオハダ
	1・1	エゴノキ		2・2	シラキ		+	イヌシダ
	1・1	カナクギノキ		1・1	イヌシデ		+	ウチワゴケ
	1・1	クワ		1・1	エゴノキ		+	ガクウツギ
	1・1	ケヤキ		1・1	ガマズミ		+	カナクギノキ
	1・1	ヤマザクラ		1・1	シキミ		+	カワチブシ
	+	イヌシデ		1・1	ヤマツツジ		+	コアジサイ
	+	クマノミズキ		+	アセビ		+	コウヤコケシノブ
	+	ヒメシヤラ		+	カイナンサラサドウダン		+	コタチツボスミレ
				+	カマツカ		+	サワハコベ
				+	シロダモ		+	シラキ
				+	シロモジ		+	シロダモ
				+	ダイセンミツバツツジ		+	スゲ属の一種
				+	タンナサワフタギ		+	タツナミソウ属の一種
				+	ツクバネウツギ		+	ツルマサキ
				+	ネジキ		+	テイカカズラ
				+	ノキシノブ		+	ノキシノブ
				+	ヤブニッケイ		+	ヒメシヤラ
							+	ヒメミヤマスミレ
B2	1・1	エゴノキ					+	フクロシダ
	1・1	シロダモ					+	ベニシダ
	1・1	ヒメシヤラ					+	マメツタ
	1・1	アブラチャン					+	マルバウツギ
	1・1	コハウチワカエデ					+	ミサキカグマ
	+	クワ					+	ミヤコアオイ
	+	ケヤキ					+	モミ
	+	シラキ					+	リョウブ
	+	タンナサワフタギ						
	+	マルバアオダモ						
	+	リョウブ						

メモ:



表 2.4.2-3(6) 植生調査表 (調査地点6)

群落名				アセビ-イヌツゲ群落(No.11西側斜面)		地点No.	⑥		
地形				斜面上		風当	中		
方位				S		日当	陽		
面積(m)				10×10m		土湿	適湿		
(階層)				種名	高さ(m)	植被率(%)	備考		
高木層	B1								
亜高木層	B2			アカマツ	8.0	20			
低木層	S			アセビ	5.0	90			
草本層	K			ヒサカキ	1.0	15			
						調査日	2014年11月4日		
L	D-S	SSP.			L	D-S	SSP.		
B1			S	4.4	アセビ	K	1.2	ヒサカキ	1
				1.1	コナラ		1.1	アセビ	2
				1.2	カマツカ		+2	コアジサイ	3
				1.1	ヒサカキ		+2	コウヤボウキ	4
				1.1	ヤブツバキ		+	アラカシ	5
				1.1	ネズミモチ		+	イヌツゲ	6
				1.1	ヤブイバラ		+	イロハモミジ	7
					+ シロダモ		+	ウスノキ	8
					+ テイカカズラ		+	ウラジロ	9
					+ ネジキ		+	ガクウツギ	10
					+ ヒメシャラ		+	コジイ	11
					+ モチツツジ		+	コバノガマズミ	12
					+ ヤブニッケイ		+	コマユミ	13
					+ リョウブ		+	サカキ	14
							+	サルトリイバラ	15
							+	シキミ	16
							+	シシガシラ	17
							+	シロダモ	18
							+	スゲ属の一種	19
B2	1.1	アカマツ					+	スノキ	20
	1.1	コナラ					+	テイカカズラ	21
	1.1	ネジキ					+	トウゲシバ	22
	1.1	ヒメシャラ					+	ナガバモミジイチゴ	23
	1.1	ヤブニッケイ					+	ノササゲ	24
	1.1	ヤマザクラ					+	ヒメシャラ	25
							+	ヒメヤマスマシ	26
							+	モチツツジ	27
							+	ヤブイバラ	28
							+	ヤブツバキ	29
							+	ヤマツツジ	30
							+	ヤマボウシ	31
									32
									33
									34
									35
									36
									37
									38
									39
									40



メモ:

表 2.4.2-4 植生調査票 凡例

植生調査票に使用する用語説明

①階層

B1	高木層	およそ 5 m 以上の樹木が茂る層で、高木層を2層に区分した場合の上の層を示す。
B2	亜高木層	およそ 5 m 以上の樹木が茂る層で、高木層を2層に区分した場合の下の層を示す。
S	低木層	およそ 5 m 未満の樹木が茂る層で、草本層より上の層を示す。
K	草本層	草本が茂る層を示す。
植被率		各層毎の植生が覆っている面積の割合を百分率で示したもの。

②種組成

L	階層	上記階層区分のどれに属するかをB1, B2, S, Kで示す。
D	被度	ある植物が地表面をどれだけ覆っているかを示す値で、大きい順に5, 4, 3, 2, 1, +で示す。

5 … 被度が調査面積の 3/4 以上を占めているもの
 4 … 被度が調査面積の 1/2～3/4 を占めているもの
 3 … 被度が調査面積の 1/4～1/2 を占めているもの
 2 … 個体数が極めて多いか、また少なくとも、被度が調査面積の 1/10～1/4 を占めているもの
 1 … 個体数は多いが、被度は 1/20 以下、または、被度が 1/10 以下で個体数が少ないもの
 + … 個体数も少なく、被度も少ないもの

被度 5 4 3 2 1

S	群度	ある植物が調査区画内にどのように配置しているかを示す値で、大きい順に5, 4, 3, 2, 1で示す。
---	----	---

5 … 調査区内にカーペット状に生育しているもの
 4 … 大きなまだら状、または、カーペットのあちこちに穴があいているような状態のもの
 3 … 小群のまだら状のもの
 2 … 小群をなしているもの
 1 … 単独にはえているもの

群度 5 4 3 2 (小群状) 1 (単独)

2.4.3 特殊性（カヤネズミ）

工事着手前の特殊性（カヤネズミ）の状況を把握するため生息調査を実施したので報告する。カヤネズミは、通常低地の草地、水田、畑、休耕地、沼沢地などに生息するとされているが、標高約 500mに位置する孤立した草地で生息が確認されたため、評価書では本種を生態系の特殊性の種として選定した。

(1) 調査目的

本調査は、アセス時に確認された生息地点におけるカヤネズミの生息状況及び生息環境の変化を把握する目的で実施した。

(2) 調査地点

調査地点は、図 2.4.3-1 に示すとおりである。

(3) 調査方法

調査方法は、生息が確認されたススキ草地において、任意に調査を行ってカヤネズミの玉巢の確認を実施する。

(4) 調査実施日

調査実施日は、表 2.4.3-1 表のとおりである。

表 2.4.3-1 調査実施日

調査実施日
平成 26 年 11 月 4 日

(5) 調査結果

調査結果は表 2.4.3-2 に示すとおり、カヤネズミの玉巢は確認されなかった。調査時（秋季）は評価書時に玉巢が確認されていた駐車場法面のススキ草地の草刈が行われた後で、生息していた場合でも確認が困難な状況であった。事後調査計画書では、調査圧を考慮して調査時期を秋季に設定していたが、草刈のタイミングを踏まえ、次年度の調査はカヤネズミの繁殖に配慮しつつススキが良く繁茂した夏季に調査を実施することとする。

表 2.4.3-2 (1) 調査結果





調査区分	調査結果
玉巢確認状況	<p data-bbox="411 568 1262 640">疎らに生育するススキを株毎に玉巢の有無をチェックしたが、見つからなかった。</p>  <p data-bbox="440 1182 1230 1218">疎らに生育するススキの例（比較的小型のタイプがほとんど）</p>
生息環境	<p data-bbox="411 1267 1262 1344">カヤネズミが営巣可能であるススキが確認されたが、草刈が実施され、刈残されたススキが疎らに分布していた。</p>  <p data-bbox="411 1921 1262 1998">アセス時に確認されたカヤネズミ生息地の状況（駐車場法面のススキ草地であるが、草刈が行われていた）</p>

表 2. 4. 3-2 (2) 調査結果

調査区分	調査結果
生息環境	 <p data-bbox="438 929 1197 974">駐車場法面の下部の植林地内に刈残しのススキが生育する。</p>
	 <p data-bbox="694 1635 933 1680">植林地内のススキ。</p>

特殊性（カヤネズミ）の調査範囲は、種の保護のため表示を控えています。

図 2. 4. 3-1 特殊性（カヤネズミ）調査範囲